

1. 件名：福島第一原子力発電所建屋滞留水処理等の進捗状況についての面談
2. 日時：令和5年10月26日（木）16時30分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
岩永室長、正岡企画調査官、佐藤上席特殊施設分析官、安部室長補佐、
森審査班長、岩野係長、椎名係長
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 担当1名
福島第一原子力発電所 担当5名（うち1名テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）より、資料に基づき、建屋滞留水処理等の進捗状況について説明があった。
- 原子力規制庁から、説明内容に対して主に以下のコメントを伝えた。
 - フィルタによるアルファ核種の捕捉が有効であることが確認できたことは大きな進歩である一方で、他の水処理設備で捕捉できているはずの核種が下流にて検出された事象もあることから、化学的な安定性についても確認を行い、その分析結果を反映した処理方法を検討すること。
 - 中期的リスクの低減目標マップを踏まえ、実施計画の変更認可申請の準備も並行して進めるとともに、説明できる部分から説明すること。
- 東京電力から、上記コメントを踏まえ、引き続き検討する旨の回答があった。

6. その他

資料：

- 建屋滞留水処理等の進捗状況について

以上